

「失語症のための実践マニュアル」

初版(入門編 始めよう失語症者支援)

失語症を理解し、日常生活のコミュニケーション手段を工夫するためのもの



宮城県リハビリテーション支援センター

平成18年5月

平成19年5月改訂

I はじめに

私たちが日ごろ何気なく使っている「言葉」が、もしもある日突然使えなくなったら？、ご本人はもちろん家族や友人にも、その驚きと絶望感ははかり知れないものがあります。その上、言語障害は障害自体が外見からは分かりません。

訴える手段そのものが障害された場合は、職場や地域社会、家族友人、定期的に提供されるサービス担当者からも理解してもらいにくい、その人らしさを発揮していくことが難しくなります。これらは社会復帰をする上でも、深刻な問題を抱えることになります。

失語症者に対しては、まずは失語症の特徴について知り、様々なコミュニケーション手段を支援者側が配慮していく必要があります。

是非内容をご活用いただき、皆さんと一緒に協力して、失語症の方のために、より良い「言語環境」を整えていければと思っております。

II 内 容

- | | |
|-----------------------------|---------|
| (1)『失語症を知ろう～失語症ってこんな障害！』 |1 |
| (2)『失語症の主な症状』 |2 |
| (3)『失語症者への支援方法～苦手意識よ さようなら』 |3 |
| (4)『失語症の大まかなタイプと支援のポイント』 |4 |
| (5)『言葉の質問票』 |付録 |

III その他

本書で紹介する、コミュニケーションの工夫や手段を用いても、失語症の方とうまくコミュニケーションが取れない場合があるかも知れません。その場合、悩みの抱え込みはあまり良くありません。また、あきらめてしまつては、本人のためにもなりません。その場合は、最寄りの保健福祉事務所またはリハビリテーション支援センターに気軽にご相談ください。専門職(言語聴覚士)が皆さんのお手伝いをします。

IV 作 成

宮城県リハビリテーション支援センター リハビリテーション支援班

〒981-1217 宮城県名取市美田園二丁目1番地の4

電話 (022) 784-3588

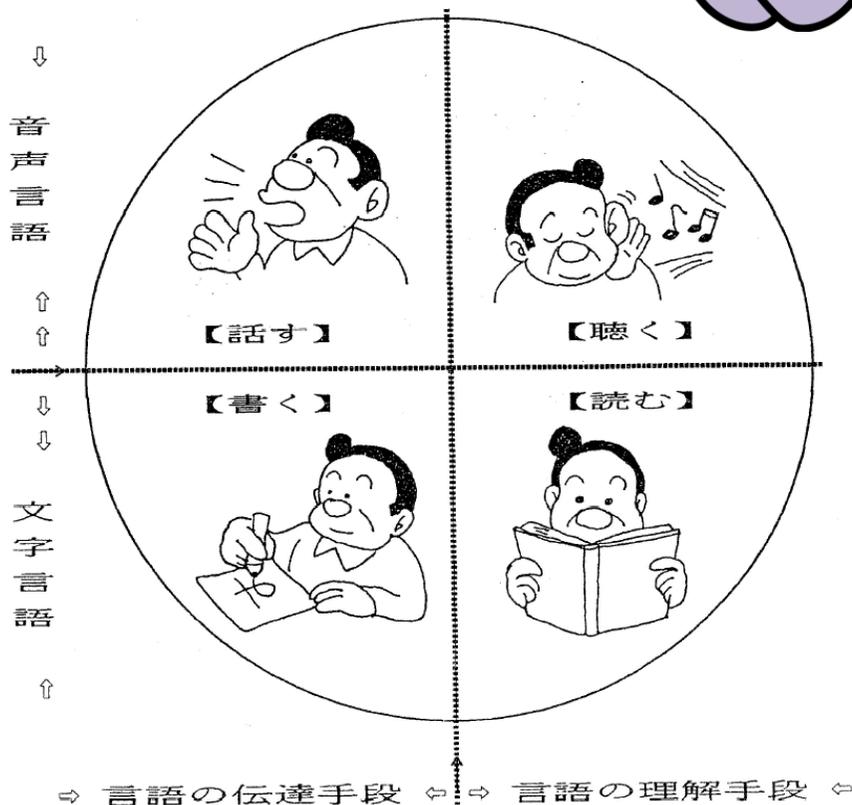
FAX (022) 784-3593

引用)本書P1及びP2:ことばの障害を持つ患者さんご家族へ(宮城県拓杏園作成)

注)本マニュアルは当支援センターが独自に作成したものです。本書の一部を利用する場合は、作成元(各ページ右下)の削除はしないで下さい。

◎失語症を知ろう～失語症ってこんな障害！

失語症は言葉を思うように使えなくなる障害です。
それは自分の意思を相手に伝える（表現）手段としての「話す・書く」と、相手の言葉を理解する手段としての「聞く・読む」ことが、程度の差はあれ障害されます。



●「失語症」とは、脳卒中や交通事故などによる頭部外傷、脳腫瘍など種々の原因で大脳の中の、言葉を使ったり理解したりする動きをしている部分（＝言語野）が損傷を受けて起こる言語障害を言います。

◎失語症者への支援方法～苦手意識よ さようなら～

◆ まずは素直な気持ちで会話しましょう！

そこから、どんなタイプで今後どう接したらいいのかが見えてきます。

～手順～

- 1 言葉の質問票【付録】を参考に、いろいろな角度からご本人と会話をします。
- 2 会話中の応答（ご本人の反応）をアセスメント表【下記】のあてはまる項目にチェックします。
- 3 チェックが一番多く入った列の一番下方が失語症のタイプになります。

アセスメント表

確認事項	会話例	反応1	反応2	反応3	反応4	反応5
1. 問いかけへの反応【状況判断の能力】	「○○さん、こんにちは！」	→ あいさつ以外でも場に相応しい反応が可能。	戸惑いはあるが、場に相応しい反応がほぼ可能。	ヒントや配慮があれば、場に相応しい反応がほぼ可能。	・反応は鈍く、間違いは多い。 ・簡単なあいさつや興味のある話題には反応する。	・反応が乏しい。 ・意味のわからない発話や場に相応しくない反応が殆どである。 ・同じ言葉だけを何回も繰り返す等。
2. 会話がどの程度聴いて理解できているのか【理解する能力】	①「朝ごはんは食べましたか？」 ②「新聞は読みますか？」	→ 戸惑うことなく、会話を理解できる。（正確）	戸惑いはあるが、簡単な質問であれば理解できている。（ほぼ正確）	質問を繰り返したり、「はい」「いいえ」で答えられる質問であれば理解できている。	質問への反応にも間違いが多く、理解はやや不正確。	うなずきや首振り、「ハイ」「いいえ」などの反応が質問内容とは無関係にみられ、理解は不正確。
3. どの程度話せるのか、意思表示（ジェスチャー）できるのか【伝える能力】	①「お名前は？」 ②「ご住所は？」	→ ・自分の名前や住所を話せる（言える）。 ・雑談もできる。	・言いづらさはあるが話せる。 ・指さしやジェスチャーなど交えてであれば伝えられる。	・最初の音や口の形を示せば少し話せる。 ・「これ、それ…」、「んだ、そう」が多いが、意味のある語も混じる。	・口の形を示して一緒にまねをしてもらえば話せる。 ・自発話「ん、わかんね。ヤダ…」が多い。	・意味のある言葉はほとんど話せない。 ・まれに、オーム返して言えることもあるが、続かない。
4. どの程度文字が書けるのか【伝える能力】	「名前、住所などを漢字やひらがなで書けますか？」	→ ・漢字でもひらがなでもほとんど書ける。 ・文も書ける。（筆談が可能）	・時間はかかるが、漢字やひらがなは書ける。 ・度々間違いもみられる。 ・名前や住所はほぼ正確。	・最初の文字や漢字の一部（偏など）を示せば少し書ける。 ・ひらがなは不正確。 ・ただし、真似て書くのは可能。	・ほぼ書けない。 ・ただし、名前や数字（1～9）、1週間の曜日などは見本を真似て書くことができる。	・書けない。 ・名前や数字（1～9）をまねて書くのも不正確。
タイプによっては表にあてはまらない場合もあります。その場合は、次ページ（多弁な人、全く反応がない人）を参考にして下さい。		タイプ1＝ 日常会話程度は可能	タイプ2＝ 配慮あれば、日常会話可能	タイプ3＝ 簡単なやり取りは可能	タイプ4＝ 「yes-no」応答はできる	タイプ5＝ 「yes-no」応答が不完全

項目間のばらつきが大きい時は、確認事項2の反応で判断してください。

☆それでも困った時は、どこまででも伺います・・・相談までの流れ・・・☆

当センターでは保健福祉事務所と協力しながら、言語聴覚士が訪問相談や研修等を実施しておりますので、専門的な評価や助言を希望する場合は、最寄の保健福祉事務所までご連絡下さい。

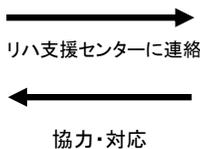
また最近では失語症者同士の交流を兼ねた相談会や、スタッフ研修を交えたものも実施しておりますので、お気軽にご相談下さい。



まず質問票で会話



保健福祉事務所に相談



訪問
相談会
研修

◎失語症の大まかなタイプと支援のポイント

以下にあげるタイプは、宮城県リハビリテーション支援センターが失語症アセスメント表を作成するにあたり、独自に考案したものです。過去に関わったおよそ300例のデータをもとに状態で大まかに分けたものです。タイプ

タイプ1 = 日常会話程度は可能

支援目標

- ・社会参加の促進
- ・障害にしばられないで積極的にコミュニケーションに参加する。
- ・パソコンやメモなどの代替手段を活用していく。

支援のポイント

- ・要点を反復したりメモを併用しながら、短く平易に順を追って伝えるように配慮して下さい。・地域内に何らかの交流の場を持って活動的に毎日を過ごせるよう、本人・家族への情報提供や心理的サポート

タイプ2 = 配慮あれば、 日常会話可能

支援目標

- ・当事者会など、家族以外とのコミュニケーションの場にも参加できるようになる。

支援のポイント

- ・初めの数音や口の形を示すなどが発語を引き出す手がかりとして役立ちます。まずあいさつ語や普段よく使う言葉などから少しずつ発語を促し

タイプ3 = 簡単なやり 取りは可能

支援目標

- ・yes-no応答や代替手段を積極的に活用する。
- ・挨拶や普段よく使う言葉などから、少しずつ発語を促していく。

支援のポイント

- ・実物や絵を見せて選択してもらう(=会話ノート活用)が有効で、理解の程度にあわせて、言葉のリストや個人的話題(趣味や特技、過去のエピソードなど)など、その選択肢の内容を充実させ、家族との

タイプ4 = 「yes-no」応 答はできる

支援目標

- ・自発性の向上。呼びかけ、挨拶、要求…などの場面で、まずは声を出すことから意思表示を促していく。

支援のポイント

- ・yes-no応答で対応出来るような聞き方をする。「絵や写真、地図や時計…」など、実物や絵を見せて選択してもらう(=会話ノート)のが有効。選択肢数が多

タイプ5 = 「yes- no」応答が不完全

支援目標

- ・まず、yes-no手段の確立を！

支援のポイント

- ・うなずきや声のイントネーションなど、ことば以外のyes-noの表現手段を見つける。家族やスタッフは、2者択一程度の選択肢(ことばや絵、写真など…)を提示して、本人の「良否」や「選択」の意志をyes-no応答で確認しながら対

その他のタイプ = 多弁、全く反応がない人

多弁な人

- ・一見流暢に話す、ミカンをリンゴに間違えるなど語の取り違いや、文法・音の誤りが多い。またやや一方的に話し続けたり、重度の場合は意味のない音だけを話し続けることもある。この場合は相手の話を聞いて理解することが苦手なので、文字や図表など視覚的な伝達手段を併用する。

全く反応がない人

- ・高次脳機能障害や認知症、障害受容や対人関係での心理的ストレスなど、多様な問題を含んでいるので、コミュニケーションと日常生活の両面の観察が必要。

言葉の質問票(観察項目の記入)

例)を参考に、会話の内容と問いかけへの応答を詳しく記録します。

名前：

記録者

1. 声かけへの反応を観察します(まずはあいさつから！)

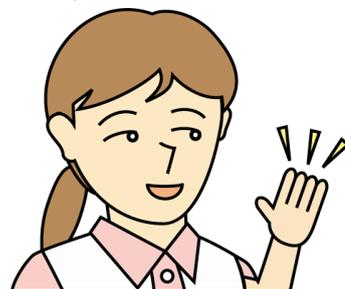
例「○○さん、こんにちは！！」

挨拶を交わしあうことがコミュニケーションを成立させるための大切なスタートになります。
元気に明るく話しかけて下さい。



☆☆観察ポイント☆☆

- あいさつを返そうとしているか
- 場に相応しい反応か
- 関わりを拒否していないか
- 意味のあることばは出ているか



2. 質問を理解できているか観察します

例1「朝ごはんを食べましたか？」

例2「新聞は読みますか？」

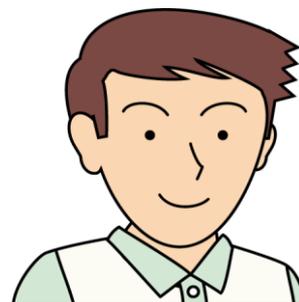
例3「お年は何歳ですか、○歳？
(実年齢より10歳以上は若く言う)」



ここでは理解の程度を観察するので、声(言葉)を出さなくても身振り等で答えられるような質問をして下さい。

☆☆観察ポイント☆☆

- 話を聞こうとしているか
- 表情、指差しやYes-Noのうなずき・首振りなどのジェスチャーは逃さずキャッチ！



3. 簡単な会話のやり取りが出来るかを観察します

例1 「名前を言って頂けますか？」

例2 「住所を教えてください。」

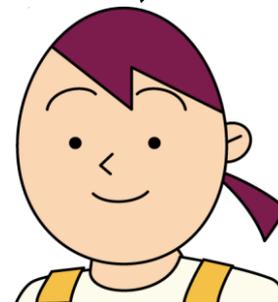
自力で言えない場合は、

- ①「最初の音は〇…、その後は？」
- ②「私と一緒に言ってみましょう
(口の動きを見せながらゆっくりと!)」



☆☆観察ポイント☆☆

- 音の出だしでつかえているか
- 無意識的な「んね、困ったナー、駄目だ」は出ているか
- まねをして言おうとするか



4. 文字が書けるかを観察します

例1 「今度は名前を漢字で書いてみて下さい。」

例2 「では平仮名ではどうですか？」

失語症者の多くは、平仮名より漢字の方が保たれていると言われています。漢字と平仮名の状態を確認して下さい。

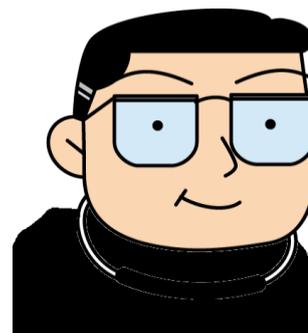
自力で書けない場合は、

- ①本人の名前を聴かせて促す。
- ②最初の一文字もしくは1、2画(漢字)を書いて、さりげなく続きを促す。
- ③目の前で書いて見せ、見ながら書いてもらう(模写)。



☆☆観察ポイント☆☆

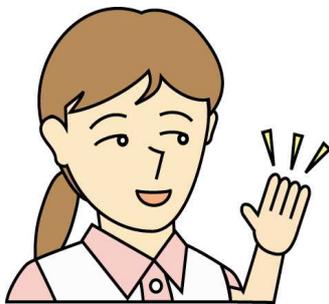
- どこまで手助けが必要か
- 書くことを戸惑わないか



※本人が書いた(どちらの手で)実物も保管しておくことをおすすめします。

アセスメント表でチェックした反応と判断したタイプを忘れずに記録しておきましょう！

記録表	質問1	質問2	質問3	質問4	タイプ
	反応	反応	反応	反応	



宮城県リハビリテーション支援センター
〒981-1217 宮城県名取市美田園二丁目1番地の4
電話 (022) 784-3588
FAX (022) 784-3593
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/rehabili/>
Eメールアドレス rehabilis@pref.miyagi.jp

◆◆ 県内各地域の相談先 ◆◆

◆ 仙南地域

仙南保健福祉事務所 成人・高齢班

〒989-1243 大河原町字南129-1

電話 (0224) 53-3120 FAX (0224) 52-3678

◆ 仙台地域

仙台保健福祉事務所 健康づくり支援班

〒985-0003 塩釜市北浜4-8-15

電話 (022) 363-5503 FAX (022) 362-6161

◆ 大崎地域

北部保健福祉事務所 健康づくり支援班

〒989-6117 大崎市旭4-1-1

電話 (0229) 87-8010 FAX (0229) 23-7562

◆ 栗原地域

北部保健福祉事務所栗原地域事務所 成人・高齢班

〒987-2251 栗原市築館藤木5-1

電話 (0228) 22-2116 FAX (0228) 22-7594

◆ 登米地域

東部保健福祉事務所登米地域事務所 成人・高齢班

〒987-0511 登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

電話 (0220) 22-6117 FAX (0220) 22-9242

◆ 石巻地域

東部保健福祉事務所 成人・高齢班

〒986-0812 石巻市東中里1-4-32

電話 (0225) 95-1419 FAX (0225) 94-8982

◆ 気仙沼地域

気仙沼保健福祉事務所 成人・高齢班

〒988-0066 気仙沼市東新城3-3-3

電話 (0226) 22-6614 FAX (0226) 24-4901